

「堀切地区まちづくり構想に関する懇談会」のご案内

堀切地区にお住まいの方全員を対象として、下記のとおり「堀切地区まちづくり構想に関する懇談会」を開催します。

この懇談会ではできるだけ多くの方々のご意見をいただくため、町会単位での開催を予定していますが、全6回すべて同じ内容ですので、ご都合のよい時間にご参加ください。

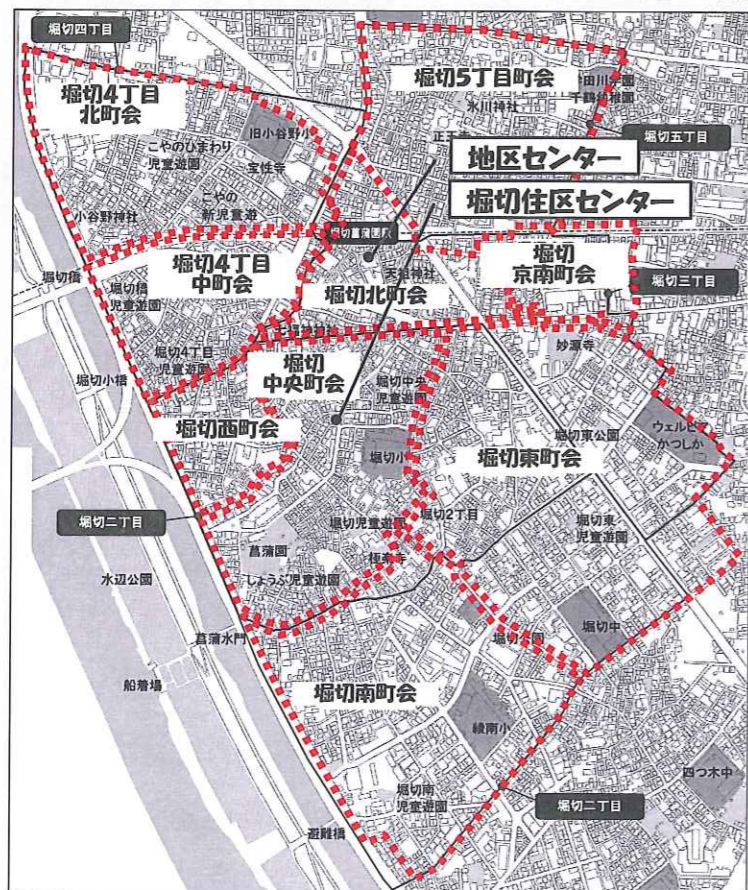
また、町会に加入されていない方や周辺にお住まいの方も、ぜひご参加ください。

日にち: **2月21日(日)** 会場: **堀切住区センター(別館和室)**

- ①午後1時 ~午後2時30分 堀切南町会区域
- ②午後2時40分~午後4時10分 堀切東町会区域
- ③午後4時20分~午後5時50分 堀切西町会区域&堀切中央町会区域

日にち: **2月27日(土)** 会場: **地区センター(3階ホール)**

- ④午後1時 ~午後2時30分 堀切四丁目北町会区域
- ⑤午後2時40分~午後4時10分 堀切四丁目中町会区域
- ⑥午後4時20分~午後5時50分 堀切北町会区域・堀切京南自治会区域



ぜひお越しください!!

懇談会は、例えば道路や公園などの具体的な整備内容について協議する場ではありません。
まちづくり構想でまとめられた堀切地区のまちづくりが目指すまちの将来イメージや今後のまちづくりに取り組む際の基本的な考え方について確認する場です。

~堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、以下にお願い致します~

堀切地区まちづくり検討協議会 事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課(加藤、石田、浅野)

代表 03-3695-1111 (内線 2508)

直通 03-5654-8391

堀切地区まちづくりニュース

特集号
通算第8号
平成22年2月



発行: 堀切地区まちづくり検討協議会

堀切地区まちづくり構想(案)がまとまりました!!

堀切地区まちづくり検討協議会・勉強会では、堀切地区の目指すまちの将来像について検討を行い、この検討成果を「堀切地区まちづくり構想(案)」としてまとめました。今回はその概要をご紹介します。

また、構想(案)の内容をより多くの方に知っていただくため、「堀切地区まちづくり構想に関する懇談会」の開催を予定しております。ぜひご参加ください。(詳細は4ページ参照)



堀切一丁目~五丁目を含む約121haの区域です



堀切地区 まちづくり構想(案)

●まちづくり構想とは
これから具体的なまちづくり活動を始めることを、区や地区住民、そして様々な関係機関等へ「宣言」するものです。また、これから取り組むまちづくり活動の「基本的な考え方」を示すものです。

●まちの成り立ちが、今の風情ある街並みを生み出しています
明治時代に見られた天祖神社から流れる水路の跡や菖蒲園、昭和初期に形づくられた商店街の街並みなど、様々な整備が進められましたが、まちを大きくつくり変えることなく、まちづくりが進められ、それぞれの時代の面影を残した街並みが、今の堀切の魅力を生み出しています。

- 堀切の魅力を活かしたまちづくり**
- まちの魅力**
 - ・下町風情の街並みが残る、歩いて楽しいまち
 - ・自然や緑が身近に感じられるまち
 - ・地域シンボルがあるまち
 - なわいの魅力**
 - ・身近な商店街があるまち
 - ・ものが生み出されるまち
 - ・伝統工芸が息づくまち
 - 人の魅力**
 - ・豊かな地域コミュニティがあるまち
 - ・まつりのあるまち
 - ・まちづくりに対する住民熱意が高いまち

心配事

- ・密集市街地なので災害が不安
- ・資源を活かしきれていない

心配事

- ・商店街に元気がない
- ・店舗や町工場の減少

心配事

- ・高齢化や若者の定住人口の減少により活気がなくなっている

●まちづくりの理念(合言葉)

誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり

●まちの将来像

- ・生まれたときからお年寄りになっても、誰もが地域の中でつながりやいきがいを持って暮らし続けられるまち
- ・地域の自然、歴史、文化など、誰もが今ある魅力を楽しめるまち
- ・災害による被害を受けにくく、誰もが安全・安心に住み続けられる、生き残れるまち

●将来像の実現に向けたまちづくりへの取り組み方

- ・今の堀切のまちの魅力の強化・継承とまちの改善の両立を図りながら、まちづくりに取り組みます。
- ・行政と協働でまちづくりに取り組みます。
- ・住民が主体的に関わるまちづくりに取り組みます。

地域活性化まちづくり

●活性化まちづくりの目標(合言葉)

地域の「暮らしやすさ」につながる活性化

⇒堀切を暮らしの舞台とする人(住む人、働く人)が満足できる、暮らしやすい、暮らし楽しい、暮らし続けられるまちを目指す取り組み
(堀切のまちの中で、人が楽しく動きまわっているのが「地域の活性化」)

●活性化まちづくりのテーマ(必要なこと、取組みたいこと)

1. 多くの人に堀切の「まちの成り立ち」を伝え、感じさせよう
2. 堀切の暮らしを支え豊かにする「なりわい」を根付かせよう
3. “高齢者”も、まちなかで活動し続けられるようにしよう
4. “若い世代”を増やし定着させていこう

●活性化まちづくりの実現に向けて(取組みの進め方)

- ・歩いて暮らせるまちなかをつくる～回遊性+住まいづくり～
- ・まちの魅力をつなぐ～骨格づくり～
- ・活性化の取組みを広げる～人づくり～



まちの魅力をつなぐ骨格づくりのイメージ図

テーマごとの方針

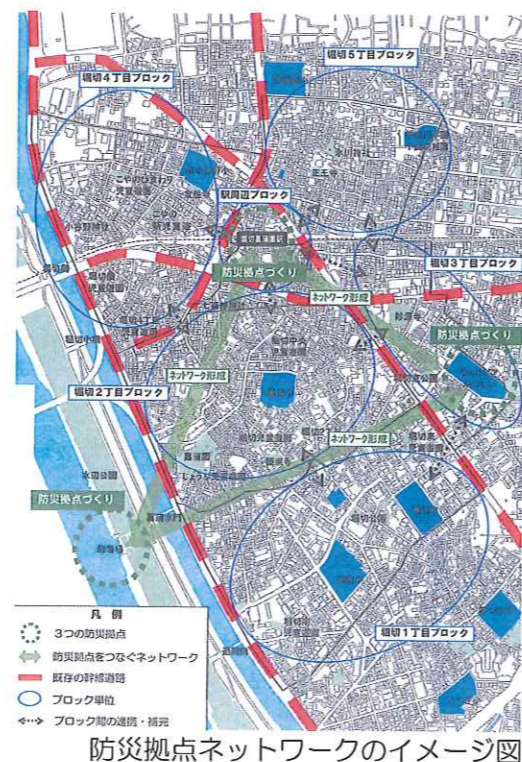
防災まちづくり

●基本的な考え方

1. 今のまちの魅力を活かし、震災後も次世代へ魅力を継承できる『防災まちづくり』の推進
2. 震災が起こっても、自宅で住み続けられる『防災まちづくり』の推進
3. いざという時は、逃げられる・救出できる『防災まちづくり』の推進

●取り組み方針

1. 地区全体にとって大切な防災拠点づくりを進める
2. 大切な防災拠点をつなぐ、大きな骨格とネットワークづくりを進める
3. ブロック(まちのまとまり)単位で、防災課題に応じた防災まちづくりを進める
4. ブロック(まちのまとまり)が担う役割を意識した防災まちづくりを進める



橋梁架替の機会を活かしたまちづくり

●基本的な考え方

国土交通省が計画している京成本線荒川橋梁架替事業実施にあたっては周辺地域への最大限の配慮を求めると同時に、周辺地域においてもこれを機に地域の様々な問題の解決に向けたまちづくりに積極的に取り組み、この事業の機会を地域のために最大限に活用していくことを目指す必要がある。

●取り組み方針

1. 京成本線荒川橋梁架替事業に対する地域への配慮・協力の要請

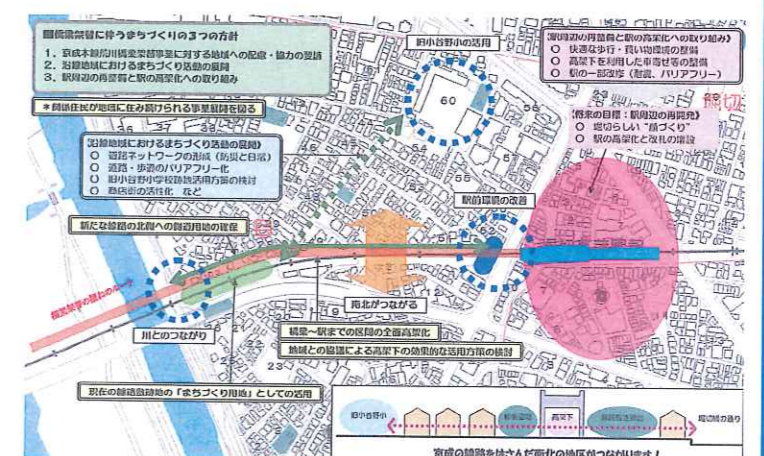
地域のより良い環境づくりを進めるきっかけとしていくために、国土交通省および京成電鉄に対し、周辺地域および堀切地区全体のまちづくりへの最大限の配慮と協力を促す。

2. 沿線地域におけるまちづくり活動の展開

直接の影響を受ける堀切四丁目の区域には、これを機に橋梁架替事業との効果的な連携を図りながら、地元住民が中心となって防災対策や商店街活性化対策などの課題の解決に向けたまちづくり活動を展開し、地区全体としても、その活動に積極的な支援・協力をしていく。

3. 駅周辺の再整備と駅の高架化への取組み

線路の高架化により生じる高架下の空間を有効に活用しながら、駅周辺街区の再整備に取り組み、併せて京成電鉄との協議・協力により駅舎の改修と高架化の実現を図る。



京成線荒川橋梁架替事業に伴うまちづくりへの取り組み方針イメージ図